

世界希少・難治性疾患の日

世界希少・難治性疾患の日、Rare Disease Dayとは？

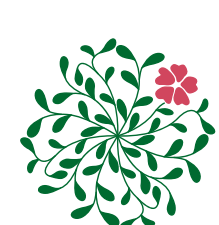
希少・難治性疾患に苦しむ人は世界中にいます。
患者数が少なかったり、病気のメカニズムが複雑なため、
治療薬・診断方法の研究開発がほとんど進んでいない例もあります。
Rare Disease Day (世界希少・難治性疾患の日、以下RDD) は、
より良い診断や治療による希少・難治性疾患の患者さんの生活の
質の向上を目指して、スウェーデンで2008年から始まった活動です。
日本でもその趣旨に賛同し、2010年から2月最終日にイベントを開催しています。

RDD日本開催事務局の役割

希少・難治性疾患患者やそのご家族と、一般社会をつなぐきっかけの場を提供しています。

患者のみでなく相互に
情報発信する場

国際連携



RDD JAPAN



RARE DISEASE DAY®

共通理解の拡大

全ての関係者による
社会意識向上の場

RDD2021について



テーマ

あなたの しりたい レア
わたしも もっと しりたい

We stand in solidarity with the RARE community

2020年から続くコロナ禍の制限の下、RDDの可能性を
模索し、2021年も多くの地域でオンライン開催となりました。

RDD Tokyo オンライン開催!



2月28日、RDD Tokyoを公式YouTubeでLIVE配信しました。



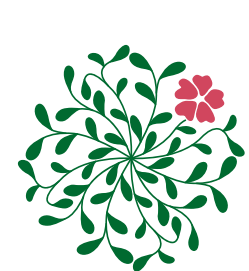
初の東京タワーRDDライトアップ



2月28日当日に東京タワーをRDDカラーにライトアップしました!

RDD2021の様子は
こちらをチェック

Rare Disease Day JAPAN 2021
<https://rddjapan.info/2021/>



RDD JAPAN

